

2015年10月吉日

各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
伊藤・金村・河野・原田

JARIP 研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の研究会を下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 研究会の概要

日時：2015年11月20日（金曜日） 12:45～15:45

場所：ラ・メール三番町ビル内 東京海上日動会議室 （地図は次頁）

〔住所〕東京都千代田区三番町6-4

講師：神谷 信一 氏

シンガポール南洋理工大学ビジネススクール Assistant Professor（講師略歴は次頁）

講演題目：「空間モデルを使った中国の損害保険市場分析」と
「アジア地域における保険研究」

講演概要：

中国の損害保険市場はすでにアメリカに次ぐ世界第2位の規模となり今後もその成長が見込まれ、インドとともに今後の世界保険市場の成長の牽引することが期待される。国際的な保険研究では損害保険市場の規模や成長は国の経済規模、特にGDPや個人所得といった指標でかなりの部分が説明できるが、教育レベルや都市化といった社会的さらには文化的な要素が保険消費に関連していることも知られている。また、その関係については国によって大きな差異がある。

こういった保険消費の研究は保険会社が市場の今後の成長性を検討する上で重要な情報になりうるが、近年急成長を続ける中国国内の損害保険市場に関して十分な分析がなされているとは言い難い。

本講演では、中国国内の損害保険市場に焦点を当て、どのような要素が保険購入に関係しているかについて空間モデルを用いて各県ごとの相関関係を考慮した上で検討する。その結果は各県の損害保険消費を従来の方法と比較してより正確に調査・予測する上で活用することができることを議論する。

本講演ではさらにアジア地域における保険研究についての報告を行う。講師がシンガポール金融庁と進める保険業界でのイニシアティブ、台湾・中国での保険研究の現状を中心に報告し、今後の日本の保険研究のあり方について議論を行う。

2. 参加申し込み

期日:2015年11月18日(水) (JARIP会員以外も参加可能です)

下記よりお願い申し上げます。

<https://fs222.formasp.jp/c442/form6/>

3. 参加費 無料

4. 講師略歴

- 1994年慶応義塾大学環境情報学部卒業。安田火災海上保険で支店および本社勤務を経て2001年に退職。2003年イリノイ大学数学部修士課程を修了(応用数学)。慶応義塾大学非常勤講師等を経て、2010年にウィスコンシン大学マディソン校ビジネススクールにてPh.Dを取得(保険とリスク管理)。2010年7月よりシンガポール南洋理工大学ビジネススクールにてAssistant Professor。英国アクチュアリー会認定の保険数理科目(Financial Mathematics, Actuarial Statistics)と損害保険の授業を担当。
- 主な論文はJournal of Risk and InsuranceやNorth American Actuarial Journalに掲載。最近の主な研究は、資本配分、金融危機における保険消費とリスク回避、責任準備金とインセンティブの関係、契約者保護と市場規律など。

以上

[会場地図] ラ・メール三番町ビル内 東京海上日動会議室(東京都千代田区三番町6-4)

